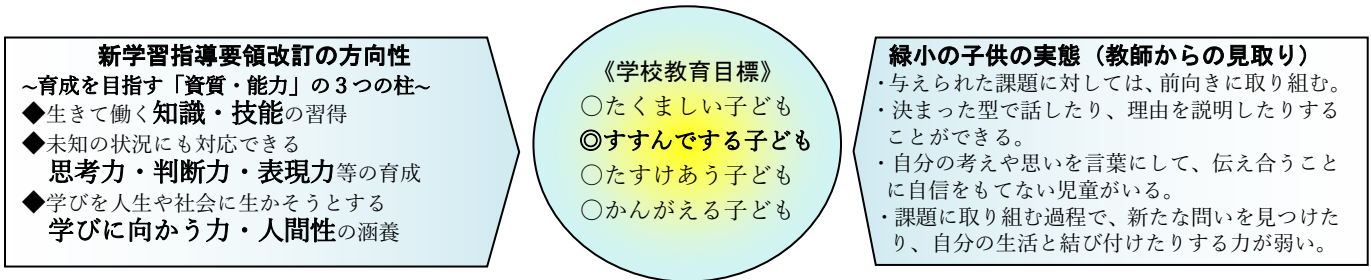


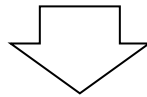
令和2年度 研究構想図



**研究主題**

**すすんで考え、共に学び合う子供の育成**

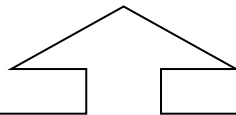
~ICT機器を活用した協働学習の推進を通して~



**〈研究仮説〉**

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学ぶことに興味や関心を持ち、他者の考えと交流しながら、自分の考えを広げ深めていく子供が育つだろう。

	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
<b>子供の学びの姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味をもって取り組む</li> <li>○問題（課題）意識をもつ</li> <li>○自己の課題をもつ</li> <li>○自ら問いをもつ</li> <li>○予想を立てる</li> <li>○解決の見通しをもつ</li> <li>○既習事項を生かす</li> <li>○粘り強く取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者の考えに興味をもつ</li> <li>○自分と他者の考えの共通点や相違点に気付く</li> <li>○互いの考えのよさに気付く</li> <li>○多様な情報を得て、それを手掛かりに考える。</li> <li>○自分の思いや考えを多様な手段で説明する</li> <li>○協働して課題解決をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考えを再構築する</li> <li>○新たな問いをもつ</li> <li>○別の解決方法もないか考える</li> <li>○分かったことと自分の思いや考えを結び付ける</li> <li>○学んだことの中から規則性や共通性を見付ける</li> <li>○学んだことを生活や他教科とつなげて考える</li> </ul>



**〈研究の柱〉**

**柱1 「主体的、対話的で深い学び」の視点に立った授業改善**

視点1 「見方・考え方」を働かせている「子供の学びの姿」の想定

視点2 協働学習の実現

**柱2 すすんで考え、学び合うことのできるような教材研究、環境整備等**

ICT機器の活用